

猪苗代の幸に舌鼓



今年で16回目を迎えた「猪苗代新そば祭り」は11月10、11の両日、カメリーナで開かれまし
た。猪苗代手打ちそばの会の名
人たちが打ったそばは、温かい
「祝言そば」と冷たい「ざるそば」
で振る舞われました。

県内外から訪れた4千人以上
の来場者は、▽ひきたて▽打ち
たて▽ゆでたて「3たて」の新
そばに舌鼓を打ちました。

そばだけではなく「天ぷらの
盛り合わせ」やそばがゆなども
振る舞われ、その食材のほとん
どは猪苗代産。来場者は、猪苗
代の幸と猪苗代の元気をその舌
で味わいました。



1_子どもたちもおいしいそばに夢
中 2_茨城県から毎年来ていると
いう皆さん 3_「こね」はそばの
食感が決まる大事な作業 4_お待
ちかねのそばを受け取るお客さん
5_ひきたて、打ちたて、ゆでたての
そば 6_今年も長い行列ができた
7_名人の見事な手さばきに視
線がくぎ付け 8_千葉県野田市か
ら駆け付け、楽しい曲を披露してく
れたWRPの皆さん



1_表彰式終了後、みんなで記念写真 2_ア
ンカーを務めた五十嵐史朗主将 3_12区影
山裕選手 4_3年連続で1区を走った鈴木
美姫選手(田村高3年) 5_10区五十嵐修一
選手(学法石川高2年)から11区小川あかり
選手(猪苗代中2年)にリレー 6_15区小林
萌々選手(猪苗代中1年) 7_6区長谷川尚
大選手(会津学鳳高1年)から7区古川裕隆
選手(会津学鳳中2年)にリレー 8_8区大
川原一彰選手(東中3年)から9区増子風鈴
選手(猪苗代中2年)にリレー



チームワークで町の部4位入賞

第24回市町村対抗福島県縦断
駅伝競争大会(ふくしま駅伝)
は11月18日、白河市総合運動公
園陸上競技場から福島県庁まで
の16区間、96・5kmのコースで
開かれました。
レースでは、選手一人一人が
力を発揮し、チームワークで町
の部4位入賞、総合16位という
成績を上げました。
全力を出し切り、タスキをつ
ないだ選手たちの頑張りは、町
民に元気と勇気を与えました。
18年ぶりに出場し、チームを
けん引した最年長の金丸哲選
手は「満足のいく走りできた。
来年もまた出場できるように頑
張りたい」と意欲を見せました。
きょうだいで出場した小川広
あかり両選手は「2人で出場で
きてうれしい。来年もまた出ら
れるように頑張りたい」と話し
ていました。